

2012 年度コレクション展

## 特集 新収蔵品による S. W.ヘイター展

### 小企画 美術の中のかたち 手で見る造形 すけなりまさのり 祐成政徳展

#### 開催趣旨

このたびの 2012 年度コレクション展 には大きな見所が二つあります。

一つ目が、20 世紀の版画の巨匠 S.W.ヘイター (1901-1988) の大特集です。このたびご寄贈いただいた 191 点のヘイター作品の中から 55 点を選び、個展形式でご紹介します。彼の芸術の真髄である版画とともに、珍しい油彩画などもご覧いただけます。

二つ目が、毎年夏に開催している手で触れて鑑賞する展覧会「美術の中のかたち 手で見る造形」展です。今年には祐成政徳 (すけなり・まさのり 1960-) 氏によるインスタレーションをお楽しみいただけます。

以上に加え、新たに収蔵されたヘイター以外の作家 10 人による作品もご紹介します。

兵庫県立美術館では、前身の兵庫県立近代美術館の時代より、40 年以上にわたって作品収集を行い、収蔵された作品数は 8,000 点以上に及びます。当館 1 階と 2 階の展示室で開催される「コレクション展」では、年 3 回の展示替えを行いながら、コレクションの名品をさまざまなテーマに分けて紹介しています。

#### 会期等：

平成 24 年 7 月 7 日 (土) ~ 11 月 4 日 (日)

休館日：月曜日 ただし、7 月 16 日 (月) 9 月 17 日 (月) 10 月 8 日 (月) は開館、  
7 月 17 日 (火) 9 月 18 日 (火) 10 月 9 日 (火) は休館

開館時間：午前 10 時から午後 6 時まで

特別展開催中の金・土曜日は夜間開館 (午後 8 時まで) 入場は閉館の 30 分前まで

会場：兵庫県立美術館 常設展示室 (1 階・2 階)

主催：兵庫県立美術館

観覧料：一般：500 (400) [300] 円 / 大学生：400 (320) [240] 円 / 高校生・65 歳以上：250 (200) [150] 円

( ) 内は 20 名以上の団体割引料金、[ ] 内は特別展とのセット料金  
障害のある方とその介護の方 (1 名) は無料

9 月 22 日 (土) までは、クールスポット指定期間のため、各観覧料金の半額になります。

### 新収蔵品紹介 1 圧倒的な力を前にして 【展示室 1 出品点数約 13 点】

森村泰昌、椎原治、トン・マーテンス、ヤノベケンジ、榎忠、福岡道雄

人間の弱さが招き寄せる悲劇。自然がもたらす災害。圧倒的な熱量・重量。表現することへの絶望。抗いがたい圧倒的な力を前にした芸術家たちは、どのような作品をもってこれに立ち向かうのでしょうか。



トン・マーテンス《長田区の壁（紙のモニュメント）》  
1997-2011 年

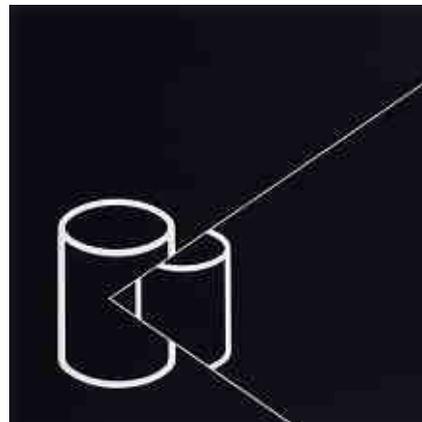


森村泰昌《なにものかへのレクイエム  
（独裁者はどこにいる 3）》2007 年

### 新収蔵品紹介 2 版画の表現力 【展示室 2 出品点数約 20 点】

船井裕、鎌谷伸一、井田照一

版画の技法は様々ありますが、1960 年代から 1970 年代にかけて、版画とは何か、と自らを問い直すような理知的な表現が追求されました。ここではそうした時代を牽引した 3 人の作家の作品をご紹介します。



船井裕《ANALOGY》1971 年

### 新収蔵品紹介 3 新収蔵品による S. W. ヘイター展 【展示室 3 出品点数約 55 点】

20 世紀の版画の巨匠 S.W.ヘイター（1901-1988）の大特集です。このたびご寄贈いただいた 191 点の中から厳選された 55 点の作品により、彼の生涯を通じての作風の変化や代表的な作品をご紹介します。ヘイター芸術の真髄である版画だけでなく、珍しい油彩画作品などにもご注目ください。

### 美術の中のかたち 手で見える造形 祐成政徳展 【展示室 4 出品点数約 4 点】

詳細は別紙のプレスリリースに記載いたしておりますので、ご参照ください。

## 近・現代彫刻ロダン、ブールデル、マイヨールとその後 / 安藤忠雄コーナー

【展示室 5 出品点数約 9 点】

当館の収集の柱のひとつである彫刻から、西洋近・現代作品を展示します。また、当館の設計者である建築家・安藤忠雄の関西でのプロジェクトを模型、写真、映像などで紹介するコーナーを併設します。



オーギュスト・ロダン《オルフェウス》1892年

## コレクション名品選 新収蔵の村上華岳作品とともに

【展示室 6 出品点数約 25 点（会期中展示替あり）】

人の姿をさまざまに表現した 19 世紀後半から 20 世紀前半の油彩画と、戦後日本を代表する「具体美術協会」の作品によるコレクション名品選です。あわせて、兵庫ゆかりの日本画家・村上華岳を、新しく仲間入りした 2 点とともに特集展示します。



村上華岳《早春風景》1919年  
\*9月4日から11月4日までの展示



村上華岳  
《菩提樹下観法之図》  
1934年  
\*7月7日から9月2日  
までの展示

## 関連事業

### (1) 学芸員によるギャラリートーク

9月22日(土・祝) 10月6日(土)

午後4時から(約30分)

常設展示室 参加無料(要観覧券)

### (2) おはなしイベント「展示室でワイワイワイ」

8月11日(土) 8月12日(日)

午前11時からと午後2時からの1日2回(各回約1時間)

常設展示室

講師：遊免寛子、小林 公

対象：小学生～ 大人の方も楽しみいただけます 参加無料(要観覧券)

### (3) こどものイベント 「美術館探検ツアー」

10月13日(土)

午前10時30分から午後0時30分

対象：小・中学生とその保護者 30名 参加費 300円

事前申し込み制 9月8日(土)午前10時より電話にて受付 TEL:078-262-0908

### (4) ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜の午後1時から(約45分)

エントランスに集合 内容により要観覧券

## 広報用画像について

---

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

なお、S. W. ヘイターの図版を、御社媒体に掲載ご希望の場合、御社より美術著作権協会に申請が必要で、掲載が有料となります。ご了承ください。詳しくは下記営業・広報グループまでお問い合わせください。

## お問合せ先

---

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 078-262-0901（代）

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 企画担当学芸員 小林 公、鈴木 慈子

【美術の中のかたち - 祐成政徳展 企画内容に関すること】 企画担当学芸員 出原 均、遊免 寛子

TEL:078-262-0909(直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905(直) FAX:078-262-0903

2012 年度コレクション展 小企画

## 美術の中のかたち - 手で見る造形

すけなりまさのり  
祐成政徳展

I'd like to know what you really want.



《HEAVEN・PEACE・BLOOD》 2003年（参考図版）

開催趣旨：

兵庫県立美術館の前身である兵庫県立近代美術館では、平成元（1989）年度より「美術の中のかたち - 手で見る造形」展を開催してきました。この展覧会は、視覚に障害を持つ方にも美術館に来ていただきたいという願いと、手で触れる作品を展示することにより、目で見るのが当たり前となった美術鑑賞のあり方を再考しようという目的から始まったものです。この試みは、兵庫県立美術館への移転後も継続され、これまでで20回を超える展覧会を開催してきました。

具体的には、現在活躍している美術家に、手で触れる作品を出品していただき（当館所蔵品中の触れる作品を展示に組み込むことも多いです）、多彩かつ新鮮な内容の触れる作品を紹介するよう努めてきました。

第23回目となる今回は、祐成政徳（すけなり・まさのり）氏を迎えて開催します。1960年福岡県に生まれ、1987年武蔵野美術大学油絵学科を卒業、東京を拠点に活躍する祐成氏は、様々な素材を使って建物や場所に呼応した空間表現を行ってきました。今回の展覧会では、観覧者が「もの」に触れるとともに、現代アートの重要な要素である「空間」にも、いわば触れていただくことを試みます。「もの」に触れていくことで、そこにある空間全体を感じたり、触れる経験のあいだに、なにも触れないことが入り込むことで、空間を感じ取ったりすることになります。このような「空間」体験を、視覚障害者の方にも、晴眼者の方にも味わっていただくことを意図します。

出品点数 約4点

会期等：

平成24年7月7日（土）～11月4日（日）

（2012年度コレクション展 と同時開催）

休館日：月曜日 ただし、7月16日（月）9月17日（月）10月8日（月）は開館、  
7月17日（火）9月18日（火）10月9日（火）は休館

開館時間：午前10時から午後6時まで

特別展開催中の金・土曜日は夜間開館（午後8時まで） 入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 常設展示室4

主 催：兵庫県立美術館

後 援：兵庫県・兵庫県教育委員会・神戸市・神戸市教育委員会・兵庫県社会福祉協議会・神戸市社会福祉協議会

協 賛：株式会社資生堂

観覧料：一 般：500(400)[300]円 / 大学生：400(320)[240]円 / 高校生・65歳以上：250(200)[150]円

( )内は20名以上の団体割引料金、[ ]内は特別展とのセット料金  
障害のある方とその介護の方(1名)は無料

9月22日(土)までは、クールスポット指定期間のため、各観覧料金の半額になります。

関連事業：

アーティスト・トーク(講師：祐成政徳氏)

9月9日[日]午後2時から レクチャールーム 参加無料

### 祐成政徳(すけなり・まさのり)略歴

1960年 福岡県生まれ

1983年 武蔵野美術大学油絵学科卒業

1987年 「国際鉄鋼シンポジウム YAHATA'87」東田高炉記念広場 / 福岡

1995年 「視ることのアレゴリー」セゾン美術館 / 東京

1999年 5th 北九州ビエンナーレ「繰り返しと連続性の美学」北九州市立美術館 / 福岡

2000年 「空間体験：「国立国際美術館」への6人のオマージュ」国立国際美術館 / 大阪

2001年 「拡張する絵画 色彩による試み CHIBA Art Now'00」佐倉市立美術館 / 千葉

2004年 「楽しむ空間・一歩前へ!」宮城県美術館 / 宮城

2005-6年 「グローバル・プレイヤーズ-日本とドイツの現代アーティスト」BankART 1929 / 横浜、ルートヴィヒ・フォーラム/アーヘン、ドイツ

2006年 “Hyper Design:6th Shanghai Biennale 2006” CITIC スクエア / 上海、中国

2007年 「消失点：日本の現代美術」ニューデリー国立近代美術館 / インド

2008年 「アーティスト・ファイル 2008-現代の作家たち」国立新美術館 / 東京

2009年 「水都大阪 2009」大阪

### 広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

### お問合せ先

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1 電話 078-262-0901(代)

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】企画担当学芸員 出原 均、遊免寛子

TEL:078-262-0909(直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】営業・広報グループ

TEL:078-262-0905(直) FAX:078-262-0903

## 営業・広報グループ 宛

F A X ( 0 7 8 ) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	祐成政徳《HEAVEN・PEACE・BLOOD》2003年(参考図版)
2	森村泰昌《なにものかへのレクイエム(独裁者はどこにいる3)》2007年
3	トン・マーテンス《長田区の壁(紙のモニュメント)》1997-2011年
4	船井裕《ANALOGY》1971年
5	S. W. ヘイター《五人の人物》1946年 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2012
6	オーギュスト・ロダン《オルフェウス》1892年
7	村上華岳《早春風景》1919年
8	村上華岳《菩提樹下観法之図》1934年
上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。 5のS. W. ヘイターの図版を、御社媒体に掲載ご希望の場合、御社より美術著作権協会に申請が必要で、掲載が有料となります。ご了承ください。	

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名	希望
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メールリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか?	可 ・ 不可		

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。